

# 1624年（寛永元年）秋田・仙台・盛岡の殉教者一覧

2024年9月29日 秋田殉教者 殉教四百周年記念 特別基調講演 川村 信三（イエズス会・上智大学教授）

- ・ 出典：Juan Ruiz-de-Medina, *El Martirologio del Japón 1558-1873*, Roma (Institutum Historicum S.I.), 1999, pp. 491-523.
- ・ Medina の記載はローマ・イエズス会古文書館蔵 Jap.Sin 文書（手書き原文書）に基づくもの。
- ・ 漢字表記は、浦川和二郎、『東北キリシタン史』（1957年）および片岡弥吉『日本キリシタン殉教史』（2010年）を参照した。
- ・ 表中 「M」はMedinaからの引用。「浦」は浦川和二郎、『東北キリシタン史』の記載。
- ・ ローマ字表記は漢字と一致しないものが多い。
- ・ 洗礼名はポルトガル表記に統一した（Medina はスペイン語表記に統一していたので改変）。
- ・ 「ひらがな」は「漢字表記」を特定できなかった名前。「M」と「浦」に一致がみられなかったものについてはMedina 表記を主として採用した。）
- ・ 浦川をはじめ、日本文献の多くは姉崎正治の『殉教録』を参照しているが、Jap.Sin.文書と齟齬が多い。Anesaki, Masaharu, *A Concordance to the History of Kirishian Missions*. (Tokyo, 1930).
- ・ (○○○) は出身を示す。例「久保田の」=久保田の生まれ 「久保田」=久保田が捕縛地あるいは殉教地の意味
- ・ 以下西暦グレゴリオ暦 和暦は元和9年～寛永元年（1624年2月19日=寛永元年正月）

## <2月1日/元和9年12月12日 仙台>

大村賀兵衛マルコス（大村の）（宮城出身 火刑）  
大村マリア（大村の）（賀兵衛の妻 火刑）

## <2月6日・7日 仙台>

だけむら(嵩[岳]村?)三九郎パウロ（Tobasu の）（アンドレの息子、火刑享年26）  
だけむら(嵩[岳]村?)掃部アンドレ（Tobasu の）（三九郎の父 火刑 享年50）

## <2月8日 仙台>

金セリス（de Tobasu）（信徒の長 斬首 享年25）

## <2月9日 下嵐江 おろしえ>

孝右衛門アレイショ（下嵐江の）（カルヴァリヨのグループ 長老、斬首）  
道斎ドミンゴ（下嵐江の）（カルヴァリヨのグループ 長老、斬首）

## <2月9日・14日 秋田仙北>

九兵衛ルイス(M=Kuhyoē)（久保田の）（9日久保田で斬首）  
七右衛門ジョアン（M=Shichiemon）（久保田の）（9日久保田で斬首）  
お岩モニカ（久保田の）（貴人、14日久保田で斬首 享年25）

## <2月12日 仙台>

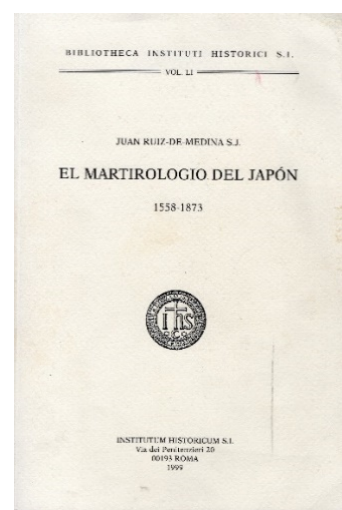
安斎ジョアキン(浦=ジョアキン 当時はジョアンと名乗った)（黒沢の）（医師 広瀬川で殉教 享年約70）  
安斎アナ（黒沢の）（ジョアキンの妻 広瀬川で殉教 享年約60）

## <2月15日頃 仙台>

安斎いえもんアンドレ（市右衛門?←姉崎）（黒沢の）（ジョアキンの甥 拷問）  
まとりルイス(M=Matori)（黒沢の）（安斎ジョアキンの従者 拷問）

## <2月18日 仙台>

次兵衛マチアス（マテオ←パジェス）（相模の）（氷水刑）  
次右衛門ジュリアノ（越中の）（氷水刑）



<1624年2月22日/寛永元年1月4日= 仙台(広瀬川) >

佐藤今右衛門レオン(「浦」=佐藤今右衛門←仙台藩文書)(会津の)(氷水刑)

高橋佐左衛門アントニオ(小浜の)(氷水刑)

小山正太夫マチアス(M=Shōemon 右衛門 正太夫←仙台藩文書)(越前の)(氷水刑)

野口ニ右衛門アンドレ(豊前の)(氷水刑)

安間孫兵衛マテウス(遠江の)(サビナの夫 氷水刑)

若松太郎右衛門マチアス(M=Wakasugi 若松←仙台藩文書)(但馬の)(氷水刑)

ディオゴ・デ・カルヴァリヨ(長崎五郎右衛門←仙台藩文書 津軽では和田勘右衛門 イエズス会司祭 ポルトガル人)(氷水刑 享年46 日本205殉教者)

<2月24日 登米とよま>

彦右衛門シモン(仙台的)(氷水刑)

モニカ(仙台的)(彦右衛門の妻 氷水刑)

名不詳(彦右衛門とモニカの息子 氷水刑)

<6月12日 薄衣うすぎぬ>

甚右衛門ガスパル(M=Jin'emon 「浦」=市右衛門)(薄衣の)(斬首)(\*Jap.Sin には Usuginu)

<同年 夏 盛岡>

マチアス(盛岡の)(マダレナの夫 斬首)

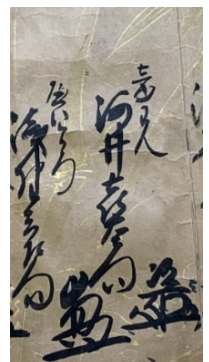
マダレナ(盛岡の)(マチアスの妻 四裂刑 享年約50)

<7月13日 下院内>

おおみジョアキン(M=Ōmi)(善知鳥の)(妻イザベルとともに獄死)

<1624年7月18日=寛永元年6月3日 湊(草生津くそうず) >

1. 河井喜右衛門ジョアン(久保田の)(武人 火刑)  
パウロ五世宛『奉答書』署名者(しゅわん河井喜右衛門尉)
2. 河井清蔵ペドロ(久保田の)(ジョアンとルシアの息子 トマスの兄 火刑)
3. 河井喜太郎トマス(久保田の)(ジョアンの息子 トマスの弟 火刑 享年13)
4. 加倉井九郎衛門ジョアン(久保田の)(武人 火刑)
5. 加倉井次郎右衛門 デイオゴ(久保田の)(ジョアンの息子 火刑)
6. 勝田采女ジョアン(久保田の)(武人 マリナの夫 火刑)
7. 勝田マリア(久保田の)(ジョアンの妻 火刑)
8. 鯨岡仁右衛門ジョアキン(久保田の)(武人 火刑)



9. 鯨岡与左衛門トマス (「浦」要左衛門) (久保田の) (武人 ジョアキンの息子 火刑)
10. 菊池甚兵衛シモン (久保田の) (武人 イザベルの夫 火刑)
11. 菊池イザベル (久保田の) (甚兵衛の妻 生きながら焼かれる)
12. 沼田縫右衛門パウロ (M=Niemon, Nuyyemon) (久保田の) (武人 火刑)
13. 中野大学ペドロ (久保田の) (武人 レジナの夫 火刑)
14. 中野レジナ (久保田の) (ペドロの妻 火刑)
15. おおみ茂右衛門アレシヨ (M=Ōmi、大見? 「浦」=三右衛門) (久保田の) (武人 妻サビナ 火刑)
16. おおみサビナ (久保田の) (アレシヨの妻 火刑)
17. 大野又左衛門フランシスコ (M=Ono 小野?) (久保田の) (武人 火刑)
18. 小松太郎兵衛ルカス (久保田の) (武人 テクラの夫 火刑)
19. 小松テクラ (久保田の) (ルカスの妻 火刑)
20. 小松市兵衛パウロ (久保田の) (武人 ルカスとテクラの息子 火刑)
21. 小松マリア (久保田の) (パウロの妻 火刑)
22. 安東弥兵衛ジュリアノ (久保田の) (武人 カンディダの夫 火中で没)
23. 安東カンディダ (M=Cándida) (久保田の) (ジュリアノの妻 火刑)
24. 安東マルタ (久保田の) (ジュリアノの母 火刑)
25. 芳賀善右衛門トマス (久保田の) (武人 火刑)
26. あちゃちゃサビナ (久保田の) (武人 生きながら焼かれる)
27. 三浦惣右衛門フェリベ (久保田の) (武人 火刑)
28. 佐々木三助ジャコベ (久保田の) (武人 火刑)
29. 佐々木マダレナ (久保田の) (ジャコベの妻 生きながら焼かれる)
30. 萩原喜左衛門ヴィセンテ (M=Kizaemon) (久保田の) (武人 モニカの夫 火刑)
31. 萩原モニカ (久保田の) (ヴィセンテの妻 生きながら焼かれる)
32. 佐藤太郎兵衛セグンド (久保田の) (武人 火刑)

<1624年7月27日 =寛永元年6月12日 草生津>

1. 大谷与左衛門シモン (久保田の) (カタリナの夫 斬首)
2. 大谷カタリナ (久保田の) (シモンの妻 斬首)
3. 望月九左衛門ディエゴ (久保田の) (マグダレナの夫 斬首)
4. 望月マダレナ (久保田の) (ディエゴの妻 斬首)
5. 清野次兵衛レオン (久保田) (カタリナの夫 斬首)
6. 清野カタリナ (久保田) (レオンの妻 斬首)
7. 井上市左衛門ジョアン (M=Ichizaemon、「浦」=幾左衛門) (久保田) (斬首)
8. 酒井九郎右衛門ペドロ (M=Sakai) (久保田) (斬首)
9. 加賀九郎兵衛ロレンソ (久保田) (斬首)

10. 筑前仁左衛門レオン (久保田) (斬首)
11. 新発田さか右衛門コスメ (M=Sakaemon、「浦」=作右衛門) (久保田) (斬首)
12. 関東佐太夫シモン (久保田) (斬首)
13. 越前太郎兵衛ディエゴ (久保田) (斬首)
14. 貝沼八郎右衛門マルティン (久保田) (斬首)
15. 加賀良玄レオン (久保田) (斬首)
16. 越後彦右衛門ジョアキン (久保田) (斬首)
17. 津之国嘉蔵 (右衛門) ミゲル (M=Kazo[emon]) (久保田) (斬首)
18. おおみフランシスコ (M=Ōmi 大見?近江?尾美?) (薄衣の) (斬首) (薄衣・薄井)
19. もくのすけパウロ (M=Mokunosuke 杵之助(?))、「浦」=圭之助 (久保田) (斬首)
20. 赤沢武右衛門パウロ (M=Buemon 武? 「浦」=文右衛門) (マテウスとアンドレの父 斬首)
21. 赤沢九三郎マテウス (赤沢の) (パウロの息子 斬首)
22. 赤沢きゅうじアンドレ (M=Kyūji、「浦」=ちくじ) (赤沢の) (パウロの息子 斬首)
23. 赤沢次郎左衛門グレゴリオ (M=Jirozaemon、「浦」=次郎右衛門) (赤沢の) (斬首)
24. 赤沢次郎右衛門フランシスコ (M=Jiroemon) (赤沢の) (斬首)
25. 赤沢おさるヴィセンテ (赤沢の) (フランシスコの息子 斬首)
26. 大津三郎右衛門ルイス (院内) (信心組の長 斬首)
27. 石見左太夫ジョアン (M=Sadayū、「浦」=三太夫) (院内) (信心組の長 斬首)
28. 仙北大学ジョアキン (院内) (斬首)
29. 関東次郎左衛門ガスパル (院内) (斬首)
30. 石見じょうげんシモン (M=Jogen、「浦」=伊兵衛) (院内) (津軽のマリアの夫、斬首)
31. 石見次兵衛ジョアン (院内) (斬首)
32. 荒木ジョアキン (和泉の) (ジョセの父 斬首)
33. 荒木い右衛門ジョセ (和泉の) (ジョアキンの息子 斬首)
34. 大坂七兵衛ロレンソ (院内) (斬首)
35. 備後喜左衛門フランシスコ (院内) (斬首)
36. 播磨甚四郎ロレンソ (院内) (斬首)
37. 尾張清左衛門ダミアン (院内) (斬首)
38. 越前か兵衛ドミンゴ (M=Kahyōe、「浦」=九兵衛) (院内) (斬首)
39. 越後孫蔵トメ (院内) (斬首)
40. さかい助右衛門ジョアン (酒井?堺?) (院内) (斬首)
41. 駿河五左衛門レオン (M=Kozaemon) (院内) (斬首)
42. 越後助右衛門マテウス (院内) (斬首)
43. ながい弥吉マチアス (「浦」=福井) (院内) (斬首)
44. 備前清十郎トマス (M=Seijūro、「浦」=清九郎) (院内) (斬首)

- 45. 石見七左衛門マテウス(M=Shichizaemon) (院内) (斬首)
- 46. 石見武兵衛ジョアキン (院内) (斬首)
- 47. 石見茂兵衛パウロ (院内) (斬首)
- 48. 越前五郎右衛門レオン (院内) (斬首)
- 49. 仙台市郎兵衛マチアス (院内) (斬首)
- 50. 伊勢惣十郎ロレンソ (M=Sōjūro、「浦」=惣次郎) (院内) (元山伏) (斬首)

<8月16日 横手>

- 下総ジョアキン (薄衣の) (農民) (斬首)
- 下総にえもんシモン (薄衣の) (農民 ジョアキンの息子) (斬首)
- 清助トマス (薄衣の) (農民) (斬首)
- 馬之丞ミゲル (薄衣の) (農民) (斬首)

<8月21日 下院内>

- おおみイザベル (M=Ōmi) (善知鳥の) (下院内で獄死)

<9月4日 下院内>

- 大町六左衛門ジョアン (M=Ōmachi、「浦」=馬井←姉崎←Omai) (高来三会の) (元同宿) (斬首)
- 大町マダレナ (善知鳥の) (六左衛門の妻) (斬首)
- 四郎兵衛パウロ (善知鳥の) (斬首)
- 寺沢とう兵衛ジョアキン (M=Tōbyōe 藤兵衛(?))、「浦」=勝兵衛 (寺沢の) (地元信徒の長) (斬首)
- 九左衛門シスト (M=Kuzaeon、「浦」=嘉右衛門) (朝鮮の) (斬首)
- カタリナ (朝鮮の) (シストと婚姻関係) (斬首)
- 孫十郎トマス (善知鳥の) (斬首)
- 林太郎右衛門ジョアキン (善知鳥の) (斬首)
- 林マリア (善知鳥の) (太郎衛門ジョアキンと婚姻関係) (斬首)
- 寺沢太郎衛門マチアス (寺沢の) (斬首)
- 弥三郎ルイス (善知鳥の) (斬首)
- 権十郎マテウス (M=Gonjūrō 「浦」=源五郎) (善知鳥の) (斬首)
- アナ (善知鳥の) (ごんじゅうろうの母)
- 小林若狭ジョアキン (下院内の) (殉教志願 享年 70) (Cobaixi Vacasa)

<9月14日 上院内 (鉾山) >

- 石見マリア (津軽の) (石見じょうげんシモンと婚姻関係) (斬首)
- 大坂又兵衛ジョアン (院内の) (斬首)

<同年冬 院内>

六左衛門シスト (M=Rokuzaemon、「浦」黒左衛門) (秋田の) (マリアと婚姻関係) (山間に放置)  
マリア (秋田の) (シストと婚姻関係)

<同年冬 盛岡>

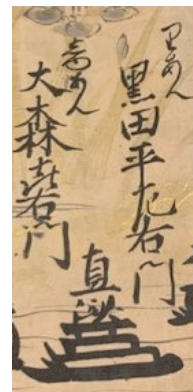
マチアス (盛岡の) (マダレナと婚姻関係) (斬首)  
マダレナ (盛岡の) (マチアスと婚姻関係 享年 50) (四裂刑)

<11月15日 盛岡>

れん左衛門トマス (M=Renzaemon 連? 蓮? 「浦」 = 辯左衛門←姉崎) (都の) (享年 40) (斬首)  
茂右衛門ディエゴ (M=Moemon 茂? 「浦」 = 巳右衛門<sub>みえもん</sub>) (都の) (享年約 50) (斬首)  
名不詳 (盛岡) (斬首)

<12月18日 = 寛永元年 11月8日 仙台>

江戸孫左衛門フランシスコ (奥州 Kasai・Akayama の) (武人 享年 25) (火刑)  
フランシスコ会士フランシスコ・バラハス (姉崎説) 又はフランシスコ・デ・アンデレ  
志内与左衛門レオン (丹波+ Shuno) (貴人 享年 35) (火刑)  
パジェスはレオ与左衛門と同定、とすれば「奉答書」署名者の理庵黒田平左衛門と同一人物



<参考文献>

- Archivum Romanum Societas Iesu, Japonica Sinica (Jap.Sin) 60, 61, 63. (手書き 原文)  
Lettere annue del Giappone de gl'anni MDCXXV, MDCXXVI, MDCXXVII : al molto Reu. in Christo, P. Mutio Vitelleschi, preposito generale della Compagnia di Giesu (1632 年刊本の『日本年報』 イタリア語)  
Luis-de-Medina, *El Martirologio Del Japon 1558-1873* (Roma, Institutum Historicum S.I. 1999) .
- 
- レオン・パジェス (León Pagés) 『日本切支丹宗門史』中巻 (岩波書店、1940 初刷、1981 年 11 刷)。  
ジャン・クラセ、太政官翻譯『日本西教史』2 巻 (1878-1880)。  
Anesaki, Masaharu, *A Concordance to the History of Kirishian Missions* .(Tokyo, 1930).  
姉崎正治、『切支丹伝道の興廃』(同文館、1930 年)。  
浦川和三郎、『東北キリシタン史』(日本学術振興会、1957 年)。  
片岡弥吉、『日本キリシタン殉教史』(片岡弥吉全集 1 智書房、2010 年)。  
武藤鐵城、『秋田キリシタン史』(角館時報、1948 年)



per nuntium cap. nomen...  
 1. Machi Ochoyemon Jōshū  
 2. Machi Ochoyemon Jōshū  
 3. Yōshiyasu Jōshū  
 4. Torayemon Jōshū  
 5. Cuzayemon Jōshū  
 6. Cuzayemon Jōshū  
 7. Mōryō Jōshū  
 8. Mōryō Jōshū

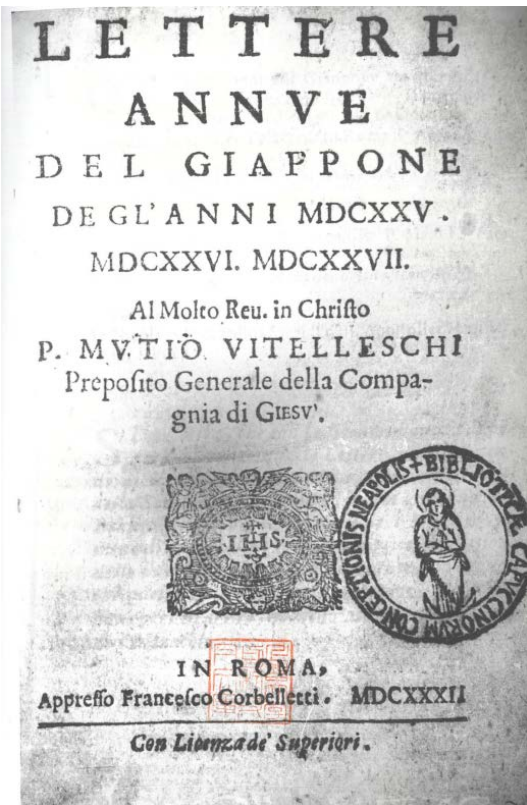
9. Maria sua mōryō  
 10. Torayemon Jōshū  
 11. Jōshū Jōshū  
 12. Mōryō sua mōryō  
 13. Cuzayemon Jōshū  
 14. Mōryō Jōshū  
 15. Mōryō Jōshū  
 16. Jōshū Jōshū

Sad per todos os santos martires...  
 16. quatro foram crucificados...  
 e os outros que foram mortos...  
 e os outros que foram mortos...  
 e os outros que foram mortos...

cardinalissima mente...  
 1. Machi Ochoyemon Jōshū  
 2. Machi Ochoyemon Jōshū  
 3. Yōshiyasu Jōshū  
 4. Torayemon Jōshū  
 5. Cuzayemon Jōshū  
 6. Cuzayemon Jōshū  
 7. Mōryō Jōshū  
 8. Mōryō Jōshū

17. Fran...  
 18. Fran...

Jap.Sin. 61, 49v いわモニカについての報告部分



97  
 ti veduti con gli occhi fissi in Cielo, mentre d'ac-  
 cordo gridavano nel modo detto, senza murare,  
 non che luogo o sito, ma nè anco aspetto: nel  
 quale scoprendo la costanza dell'animo senz'ha-  
 uer pur'abbrugiati i capelli, tanto era lontano il  
 fuoco, che lentamente gl'arrostiti; hauendo supe-  
 rate e le fiamme, & il furore de' nemici, refero  
 l'anima à Dio alli didicidotto di Luglio del 1624.  
 per ordine di Satache Vquionodaibu, essendo Go-  
 uernatore della Città Faniemon Vmezu, con-  
 merauiglia straordinaria di tutti li Gentili, che  
 non poteuano cessare di lodare la fortezza de i  
 gloriosi Seguaci di Christo.  
 Nomi de i morti per la Fede, secondo l'ordine,  
 che hauano legati.

1. Giouanni Cauai Chiyemon.
2. Pietro Cauai Keizo suo figlio.
3. Tomasso Cauai Chitaro figlio dell'istesso.
4. Giouanni Caurai Curòyemon.
5. Giacomo Caurai Iiròyemon suo figliuolo.
6. Giouanni Carta Vneme.
7. Maria sua moglie.
8. Gioachino Cugirauoca Niyemon.
9. Tomasso Yiozayemon suo figliuolo.
10. Simone Chicuci Iimbiòye.
11. Elisabetta sua moglie.
12. Paolo Numata Nuyemon.
13. Pietro Nacano Daigacu.
14. Regina sua Moglie.
15. Alessio Omi Mòyemon.
16. Sabina sua moglie.

G 17 Fran

『日本年報』Annu (1632年)刊本 ローマ イタリア語